



令和5年4月
宮城県農政部農村振興課



流域治水と連携した田んぼダムの普及・拡大について

【田んぼダムの普及・拡大】

○ 県では、将来予想される気候変動の影響による被害の防止・軽減対策として水田の持つ雨水貯留機能を最大限に活用し、下流の市街地、河川等への流出を抑制する「田んぼダム」の取組を進めており、令和3年6月、大崎管内の市町、土地改良区、農業者が参画した「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」を設立し、地域の取組を支援しています。

○ 令和4年度はコンソーシアム等を通して継続して普及活動を行ったことにより、県内全域から新たに53の市町村、改良区が参画したことにより総勢77の参加団体となりました。田んぼダムのさらなる拡大を目指し圏域ブロックごとに活動していきます。

○ 農政部農村振興課では、田んぼダムの仕組みや役割について、持続的な県民理解の向上、醸成を目的として動画を作成し、You Tube 配信しています。



(写真-1) 令和4年度コンソーシアム総会開催状況

■ 県内の田んぼダムの取組み(R4 実績)

